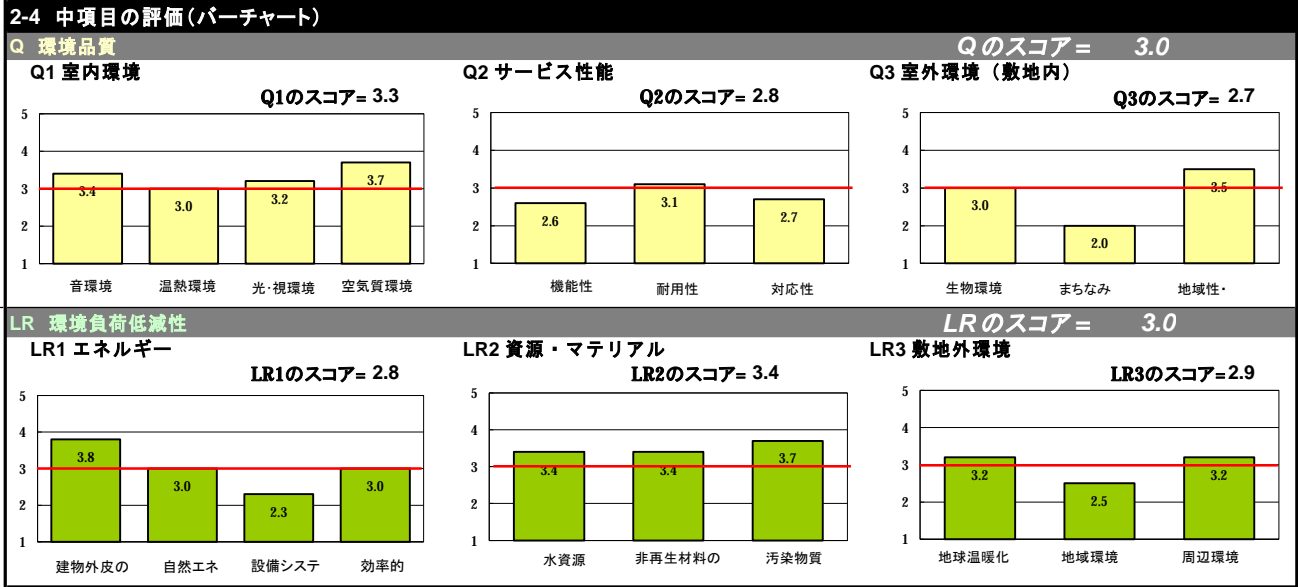
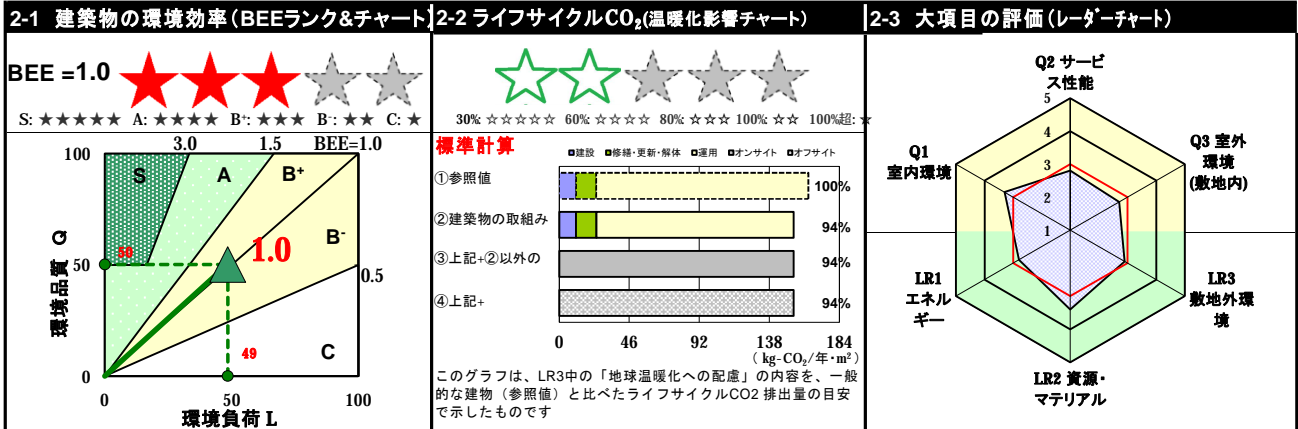


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)門真市栄町ホテル	階数	地上9F
建設地	大阪府門真市栄町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年2月6日
敷地面積	1,433 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社日企設計 森田俊和
建築面積	738 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月6日
延床面積	5,303 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社日企設計 森田俊和



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 人々が集うロビーは、昼光率が高いため明るく開放感があり、内部から見渡せるテラスには、ベンチやパーゴラ、樹木には樹名板を設置し、緑に親しみの持てるような憩いの場を提供している。また、建物自体は、リサイクル資材や、再利用できる部材の使用により、持続可能な建築物となっている。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 昼光率は、共用部分：9.29、宿泊部分：4.6とともに高く、光の入る設計となっている。	<b>Q2 サービス性能</b> 更新必要間隔の長い内装仕上げ材を使用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> できる限り緑地を施しており、庇等を設置して日影の形成にも努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> : 0.91	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGST地+PBIにより、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。また、再利用できるユニット部材(フリーアクセスフロア)を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしており、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)門真市栄町ホテル					
	建設地	大阪府門真市栄町					
	用途/区分	ホテル					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.8	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.3	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		